

第3期日野市国民健康保険データヘルス計画（素案）の概要

第1章 基本的事項

◇計画の趣旨

本計画は、厚生労働省が定める「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」に基づき、日野市国民健康保険被保険者の「健康増進（健康寿命の延伸）」と「医療費の適正化」を目的とし策定するものです。健康・医療情報を活用し、被保険者の特徴、健康状態、疾病状況を把握すると共に、第2期データヘルス計画の中で実施した事業を評価し、PDCA サイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業を推進していきます。計画期間は、令和6年度から令和11年度までの6年間とし、「第4期特定健康診査等実施計画」についても、一体として策定します。

◇日野市の特性

●日野市の人口と被保険者数

種別	令和5年4月の人数	割合
日野市人口	187,180人	100.0%
国民健康保険	32,707人	17.5%
健康保険組合等	128,153人	68.5%
後期高齢者	26,320人	14.0%

本計画の主な対象範囲は、本市人口の約17.5%ということです。

●日野市国保における被保険者数と高齢化率の推移（各年1月1日時点）

年別	被保険者数 (A)	高齢者（65歳以上） (B)	日野市国保被保険者の 高齢化率（B/A）
平成30年	38,861人	16,722人	43.03%
平成31年	37,163人	15,958人	42.94%
令和2年	35,532人	15,346人	43.19%
令和3年	35,254人	15,169人	43.03%
令和4年	34,578人	14,985人	43.34%

日野市国保の被保険者は減少傾向にあり、高齢化率は約4割です。

●日野市の主たる死因の状況（令和4年度）

疾病項目	日野市	都	国
がん（悪性新生物）	52.2%	51.4%	50.6%
心臓病	25.8%	27.5%	27.5%
脳疾患	13.2%	13.2%	13.8%
糖尿病	1.4%	1.8%	1.9%
腎不全	3.4%	3.1%	3.6%
自殺	4.0%	3.0%	2.7%

死因は、国・都平均と同様にがん（悪性新生物）が全体の過半数を占めます。

●日野市国保の医療費の状況（件数、日数、費用額）

年度	レセプト件数	日数	費用額	費用額内訳	
				1件あたり	1人あたり
平成30年度	650,853件	756,693日	12,611,092,445円	23,510円	254,852円
平成31年度	624,615件	729,840日	12,463,804,155円	24,385円	265,150円
令和2年度	551,710件	640,017日	11,640,306,227円	25,697円	247,677円
令和3年度	578,909件	671,901日	12,520,220,210円	26,487円	274,227円
令和4年度	575,142件	660,999日	12,716,244,073円	27,282円	290,355円

被保険者数が年々減少しているにもかかわらず、医療費は増加傾向です。

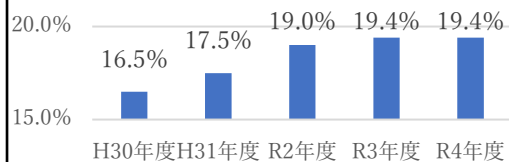
第2章 現状分析（前期計画の評価を含む）と課題の明確化

◇前期計画で実施した保健事業の実施状況（一部抜粋）

事業名	評価指標	令和4年度実績値	令和4年度目標値
特定健診	特定健診受診率	44.8%	58%
特定保健指導	特定保健指導実施	18.8%	24%
がん検診	各種がん検診 実施率	大腸 27% 胃 3.9% 肺 2.9%	大腸 48% 胃 42% 肺 42%
		乳 5.9% 子宮頸 3.4%	乳 43% 子宮頸 42%
微量アルブミン尿検査	尿検査受診率	59.8%	78%
糖尿病重症化予防	被保険者全体のうちの 人工透析開始者数	30人	22人以下
歯周病検診	検診受診率	6.9%	8.9%(R元実績)より増やす
ジェネリック医薬品普及	数量普及率	83.1%	84%
適正受診・適正服薬	対象者受診行動の減少	2.8%減	30%減

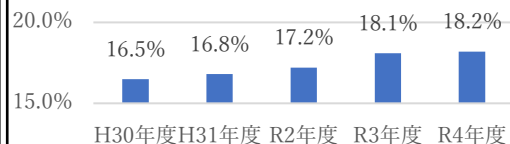
◇健康・医療情報の分析（抜粋）

●特定健診受診者のメタボリックシンドローム該当者割合の推移



■メタボリックシンドローム該当者の割合
特定健診受診者のうちメタボリックシンドロームの該当者は、増加傾向にあります。

●被保険者全体の2型糖尿病の有病率



■2型糖尿病の有病率
被保険者全体の2型糖尿病の有病率は増加傾向にあります。

●大分類疾病別の医療費順位(令和4年度)

順位	男性	女性
1位	新生物（腫瘍）	新生物（腫瘍）
2位	循環器系の疾患	筋骨格系及び結合組織の疾患
3位	腎尿路生殖器系の疾患	循環器系の疾患

医療費を疾病別に順位付けをした場合、「がん」に代表される新生物（腫瘍）が男女ともに最も医療費がかかっています。

●40歳以上被保険者の健康状態分類

判定時期	受診勧奨対象者	特定健診未受診者	生活習慣病等治療中断者
H28年度	6747人	5169人	83人
R4年度	4944人	4779人	106人

各保健事業の対象者数は減少傾向にあるが、過去に生活習慣病の治療の記録があり、その後、治療を中断している「生活習慣病等治療中断者」の人数が増加しています。

◇健康課題の明確化

状況の把握、医療費分析により、以下の4つが健康課題として見えてきました。

課題①「メタボリックシンドローム」

メタボの該当者は増加傾向にあり、メタボの早期発見のための「特定健診」とメタボ改善のための「特定保健指導」を強化していきます。

課題③「がん」

死因の1位はがんであり、疾病別医療費分析でもがんに関する医療費が1位となっており、各種「がん検診」の受診率向上に努めます。

課題②「糖尿病」

2型糖尿病の有病率が増加傾向にあり、川上対策の「微量アルブミン尿検査」、川下対策の「重症化予防」事業を強化していきます。

課題④「生活習慣病等治療中断者」

治療中断者は増加傾向であり、放置することで重篤な状態となります。新規事業の「生活習慣病等治療中断者対策」を実施していきます。

第3章 本計画の目標の設定

◇第3期データヘルス計画期間で実施する事業の概要・目標

健康課題等を踏まえ、第3期データヘルス計画では以下の事業を実施していきます。

事業名	事業概要	主な評価指標	最終目標値 (R11年度)	対応する健康課題
特定健診	被保険者にメタボ早期発見の健診を実施・受診勧奨を行う。	受診率	60.0%(R4実績44.8%)	課題①
特定保健指導	メタボの基準該当者に、保健指導の実施・参加勧奨を行う。	実施率	60.0%(R4実績18.8%)	課題①
微量アルブミン尿検査	条件を満たす被保険者に、糖尿病性腎症の早期発見を目的とした尿検査を実施・受診勧奨を行う。	受診率	62.5%(R4実績59.8%)	課題②
糖尿病重症化予防	糖尿病治療中の被保険者に重症化予防の保健指導を実施・勧奨を行う。	事業参加者のうちの人工透析開始者数 (第2期より指標変更)	0人(R4実績0人)	課題②
がん検診	条件を満たす市民に各種がん検診を実施・実施率向上の取組を行う。	実施率	60.0%(R4実績大腸がん27%他)	課題③
生活習慣病等治療中断者対策	生活習慣病等の治療中断している被保険者に医療機関受診勧奨を行う。	治療中断者数	81人以下(R4実績106人)	課題④
お口の健康診査(歯周病検診)	条件を満たす市民に対し、歯周病の検診を実施・受診勧奨を行う。	受診率	今後別の計画において設定	-
医療機関受診勧奨	健診結果で受診勧奨値があるが、通院歴のない被保険者に受診勧奨を行う。	対象者の受診率	12.5%(R4実績6.4%)	-
高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業	一体的実施事業推進協議会に参加し、一体化事業へ国保被保険者が参加できる体制構築を行う。	事業への被保険者の参加の有無	参加有(R4実績参加無)	-
人間ドック	30歳以上で人間ドックを受診した被保険者に受診料を助成し受診を促す。	人間ドック受診者数	650人(R4実績647人)	-
適正受診・適正服薬	多受診者に、適正受診のための保健指導を実施する。	受診行動の減少率	30%減(R4実績2.8%減)	-
ジェネリック医薬品普及	被保険者にジェネリック医薬品への切り替え促進通知を送付する。	数量普及率	86.0%(R4実績83.1%)	-